



## この本、よかったです！ みなさんにもおすすめしたい「くまどく本」を紹介します！

### No.150 「坂の上の雲 一」

作者:司馬 遼太郎 出版社:文藝春秋



熊野中学校

中本 太一 (2年)

母が見ていたドラマ「坂の上の雲」を見て興味を持ち、小説版を読み始めました。この本では、明治の歴史、その時の時代風景、若者たちの青春を味わえます。

中本 宏美 (母)

松山に生まれた秋山兄弟、正岡子規が東京に出た後、違う道を進むのですが、離れてもお互いを尊重し、応援している姿が好きです。実際に松山を訪れたりしながら、親子で楽しんでいます。

(教育総務課社会教育グループ)

### 学習発表会

#### 熊野第四小学校

令和7年11月15日(土)、「第四子 協力で 心を一つに 感動を」をスローガンに、学習発表会を行い、子どもたちはこれまでの学習の中で学んだことを、学年ごとに工夫を凝らして発表しました。

1年生は国語科で学習した「くじらぐも」のお話を元気いっぱいに表現した劇、2年生は「にっこにこ音楽コンサート2025」と題した合唱と合奏を披露しました。また、3年生は「熊野町何だコレミステリー」と題して町内の素敵なところを、4年生は「やさしい町づくりをめざして」で福祉について、5年生は「伝えよう！命の守り方」で防災・減災についてと、総合的な学習の時間に学んだことを発表し、自分たちの“町を愛する気持ち”を伝えました。そして、6年生は伝統の継承と進化への思いを込めた太鼓「熊四飛翔太鼓2025『絆の力』」で、その音色を体育館いっぱいに響き渡らせました。

たくさんの保護者や地域のみなさんにご覧いただき、拍手と笑顔に包まれた1日になりました。



▲6年生による和太鼓の演奏

(教育総務課)

### 筆まつりを盛り上げたい

#### 熊野東中学校

今年度、3年生の総合的な学習の時間では、「私たちの伝統文化である筆まつりを中学生として盛り上げたい」という思いで、探究的に取り組みました。取り組み当初のアンケートでは、“小さい子でも楽しめるブースを作りたい”、“ステージで熊野町をアピールしたい”など、いろいろな形で地域に貢献したいという熱いアイデアがたくさん出されました。進めていく中で「もっとこうしたい」「こういうこともやってみたい」と試行錯誤しながら準備を行いました。

令和7年9月23日(火・祝)、筆まつり当日には、子どもを連れた人や町外から来場された人など、多くの人が賑わい、生徒たちは持ち前の笑顔とパワフルさで、来場者とのコミュニケーションをしっかりとることができました。

地域のみなさんからも、たくさんの元気の出る言葉をいただきました。参加した生徒全員が、充実した時間を過ごし、「筆まつりを盛り上げるために貢献できた」と感じることができました。



▲筆まつり当日の様子

(教育総務課)

## -東防災交流センターからのお知らせ-

### 「第4回熊野東防災交流センターまつり」を開催します

防災に関連した体験コーナーや、東防災交流センターで活動しているグループのみなさんによる日ごろの成果発表など、楽しいイベントが盛りだくさんです。ぜひみなさんでお越しください。

時 3月7日(土)・8日(日) 10:00~15:00

所 東防災交流センター

[駐車場]第二小学校

※駐車場は台数に限りがあります。できるだけ乗り合わせてお越しください。

#### <イベントタイムスケジュール>

##### ▷3月7日(土)

- 10:00 オープニング
  - 第二小学校による銭太鼓
  - 消防音楽隊による演奏
- 10:30 防災イベント(所2階防災ホール)

##### ▷3月8日(日)

- 11:00 マンドリームによる演奏
- 13:00 活動グループによる発表
- 14:00 お楽しみ抽選会

#### <展示コーナー>

- 活動グループの作品展示(両日)
- 防災関連グッズの展示(3月7日(土)のみ)
  - 時 10:30~15:00 所2階防災ホール

#### <体験コーナー>

##### ▷3月7日(土)

- 防災関連の体験コーナー
  - (起震車体験、煙体験、バッテリーカー、消防車などの車両展示、防火服や自衛隊の服を着て写真を撮ろう！)



// 消防車や救急車のバッテリーカーに乗れるよ！＼

##### ▷3月8日(日)

- 三共リース(株)による防災機材の展示
- 水消火器的て大会
- バスに乗ろう！
- スタンプラリー
- おはなし会
- ペープサート
- アロマワークショップ



問 東防災交流センター ☎854-4138



### 人権とわたし

#### 「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」受賞作品を紹介！ (Part.16)

性別に関する固定概念(ジェンダーバイアス)の解消に向けた県主催の取り組みとして、エソール広島と連携して開催された「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」の受賞作品を紹介します。

### 『「やつといった。」その報告は いりません！』

**【作者のコメント】**洗い物、ご飯炊き、洗濯干し…妻がやるのは当たりまえ。時々夫がしてくれるのはありがたいが、見ればわかるし、いちいち報告はいらないです。



◀そのほかの受賞作品はこちらからご覧いただけます

【出典】ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト2024入賞作品

(50代女性)

(生活環境課)

いじめ、虐待、子育てなど、こどもの人権については『子どもの人権110番』へ  
☎ 0120-007-110(祝日を除く月～金曜日 8:30～17:15)  
広島法務局・広島県人権擁護委員連合会

子どもは地域で守る!!『子ども110番の家』にご協力ください

申 青少年育成くまの町民会議事務局  
教育総務課社会教育グループ ☎854-3111

広報くまの2026年2月号 15